免疫学Update(大阪大学免疫学フロンティア研究センター拠点長／自然免疫学 教授　審良静男　編)  
　P192 獲得免疫誘導制御のメカニズムはまだ完全に理解されているわけではないが、自然免疫系の活性化が獲得免疫誘導に重要な役割を果たしていることが明らかになりつつある。  
　P193 現行のワクチンは、歴史的な背景や試行錯誤による経験に基づいて開発されたものが多く、公衆衛生を含めた社会的な要請によって使用され、かつ効果が実証されてきたため、分子レベルでの個々のワクチンの作用メカニズムの多くは未だに不明である。現時点ではワクチン接種に伴って発生した有害事象とワクチン接種そのものに起因する副反応・副作用を科学的に解析することは非常に困難であり、ワクチンに対する不信や拒絶の一因となっている。  
<http://www.nanzando.com/books/16771.php>